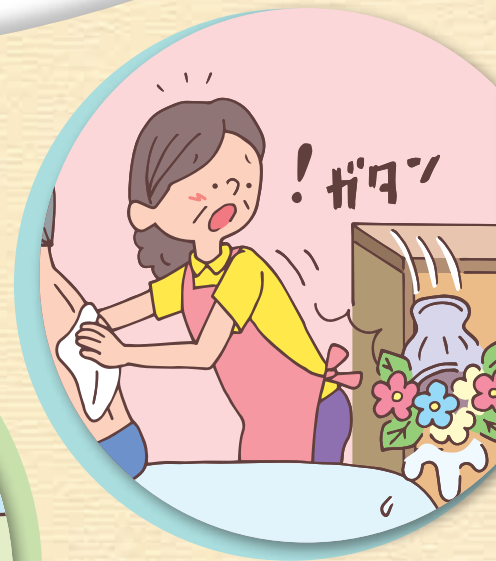


イラストで見る

# 介護事故 事例集

知っていますか？介護現場の隠れたリスク



## こうなる前に 知っておこう



# はじめに

介護に従事する皆様は、ご利用者の安全や財物の保全には細心の注意を払って業務をされていると思います。しかし、ご利用者の移動・移乗や入浴などの身体に触れる業務、施設内での見守りの他、ご利用者宅での介護など、介護の現場では様々な状況で業務を行うため、経験豊富な介護職員の方であっても介護事故の発生を予測することは困難です。このため、本書は介護現場で発生する事故をイラストでまとめ、類似した状況に遭遇した際の注意を促すことを目的といたしました。介護に従事する皆様が安心してお仕事をするための一助となれば幸いです。

## CONTENTS

### ご利用者の事故

P.1

#### 事例 1

ご利用者の後ろから声をかけたら転倒してしまった!

P.2

#### 事例 2

食事介助中、一旦落ち着いたむせ込みが、激しくなった!

P.3

事例 3 車いすが石にぶつかりご利用者が転落!

事例 4 ご利用者がソファから立ち上がる時に転倒!

P.4

事例 5 タンスの引き出しを引いたはずみで転倒!

事例 6 ご利用者が、送迎車のステップを踏みはずし転倒!

### 財物の紛失・破損

P.5

#### 事例 1

ご利用者の補聴器を紛失してしまいました!

P.6

#### 事例 2

ご利用者宅の窓を閉め忘れ雨で居間がびしょ濡れに!

P.7

事例 3 ご利用者の補聴器をトイレに水没させてしまった!

事例 4 ご利用者の荷物を置き忘れてしまった!

P.8

事例 5 壁に車いすをぶつけて傷つけてしまった!

事例 6 清拭中、ベッド脇にあった花瓶を割ってしまった!



## 介護職員の事故

P.9

### 事例1

訪問先へ向かう途中  
自動車をぶつけてし  
まった!

P.10

### 事例2

力任せの移乗により  
腰を痛めて動けなく  
なった!

P.11

事例3 ベッドから車いすへの移乗時  
で利用者と一緒に転倒!

事例4 冬の訪問先の玄関先で  
すべって転んでしまった!

P.12

事例5 介助に集中して無理な  
姿勢になり、腰を痛めた!

事例6 忘れ物に気を取られ  
お風呂場ですべって転倒!

P.13

賠償責任の仕組みを  
知っておこう!

P.15

個人情報の取り扱いに  
気をつけよう!

P.17

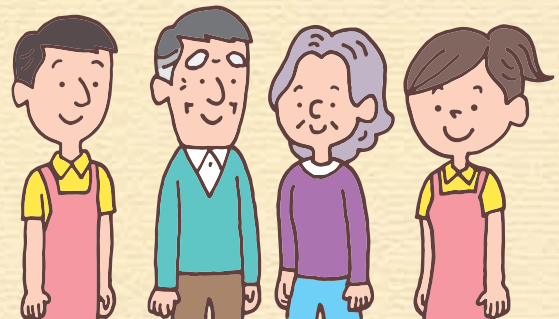
事故につながるリスクを  
把握しよう!

P.18

介護事故・事故再発を  
防止するには報告が大切!

P.19

事故が発生したときの  
対応方法を知っておこう!



# ご利用者の後ろから声をかけたら 転倒してしまった!



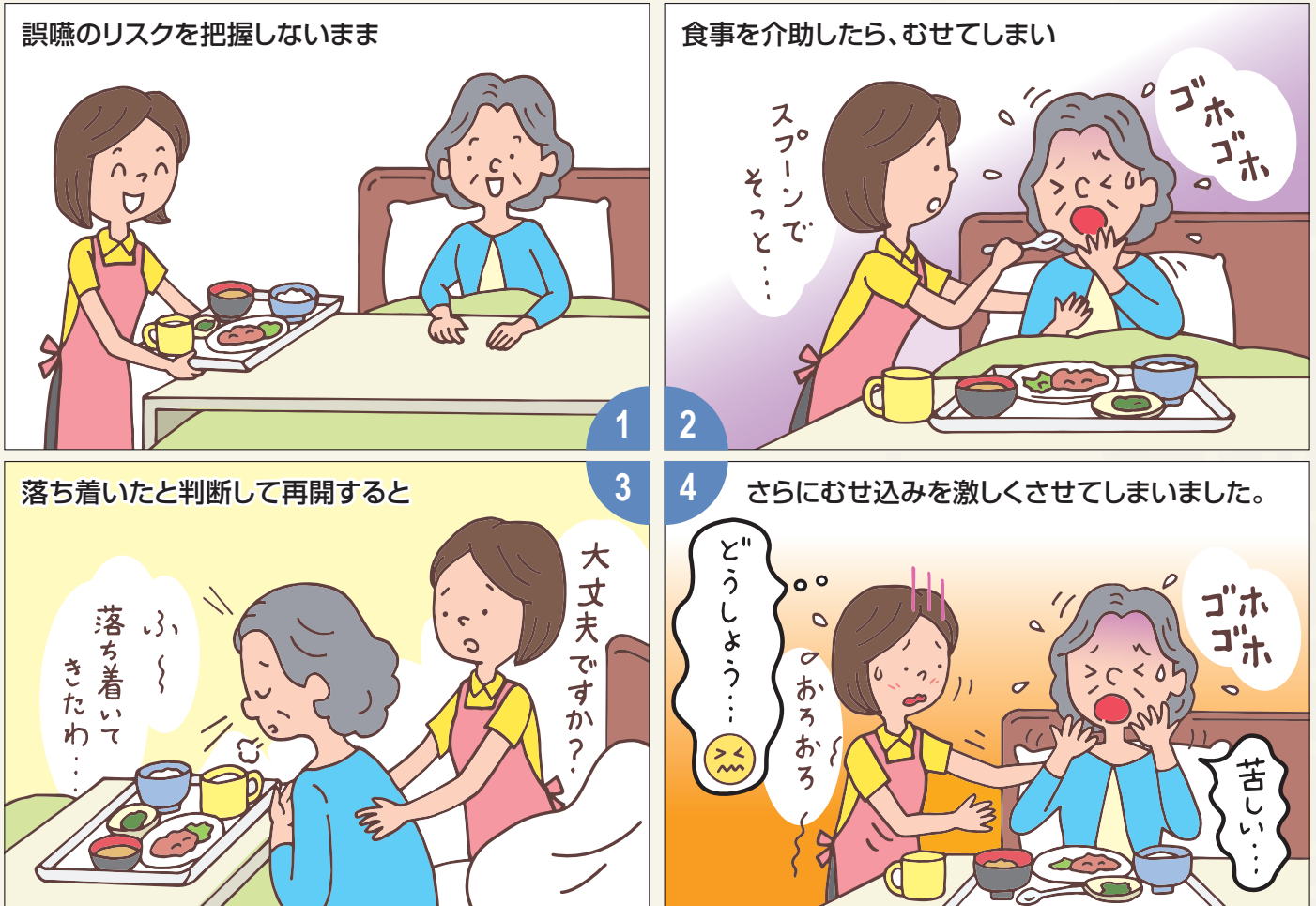
## なぜ事故が起きてしまったのか?

高齢者は通常と変わりなく見えても、足腰やバランス感覚は衰え、転倒しやすくなるという認識が不足していた。また、その可能性についての情報共有がなされていなかった。

**事故防止に向けて** 転倒アセスメントシートを作成して申し送り時に情報を共有、転倒リスクに配慮するようにしましょう。

**つねに転倒の危険があると意識。  
注意して行動しましょう。**

# 食事介助中、一旦落ち着いた むせ込みが、激しくなった!



## なぜ事故が起きてしまったのか?

誤嚥リスクに対する認識が足りなかったため、適切な対応が行えなかった。  
高齢者の誤嚥は、命に係わる大きな事故につながります。

**事故防止に向けて** 一度むせ込むと、むせやすくなる場合があります。  
むせ込んだときは、看護師に相談するなど慎重に対応しましょう。

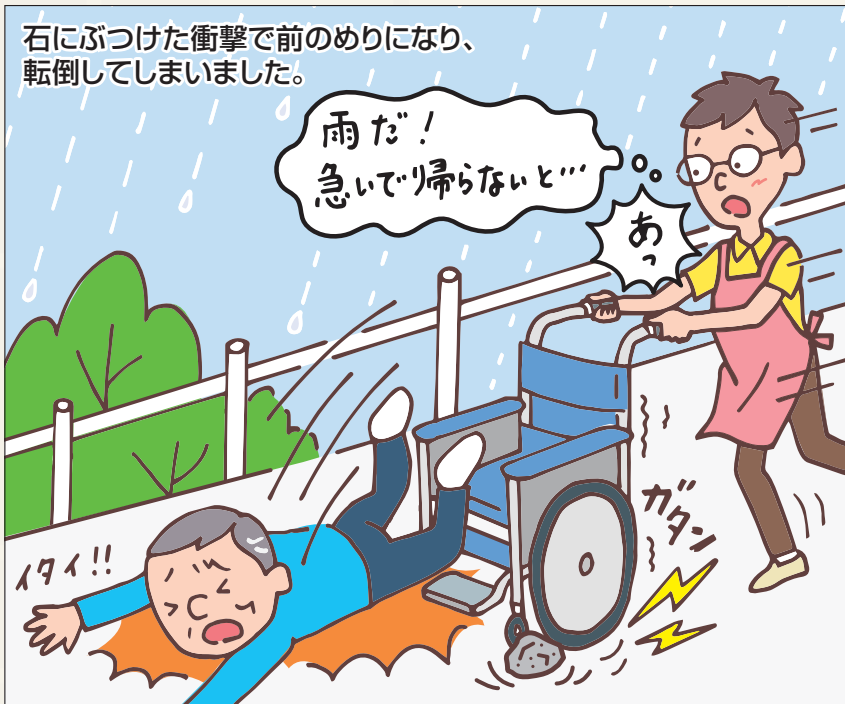
**食事介助中は“むせ込み”注意。  
誤嚥リスクを意識しましょう。**

事例

3

ご利用者の  
事故

## 車いすが石にぶつかり ご利用者が転落!



### 事故防止に向けて

どんなときでも車いすのハンドクリップをしっかり持って、ゆっくり進むこと。ご利用者の様子と進行方向の状況にも注意しましょう。

### MEMO

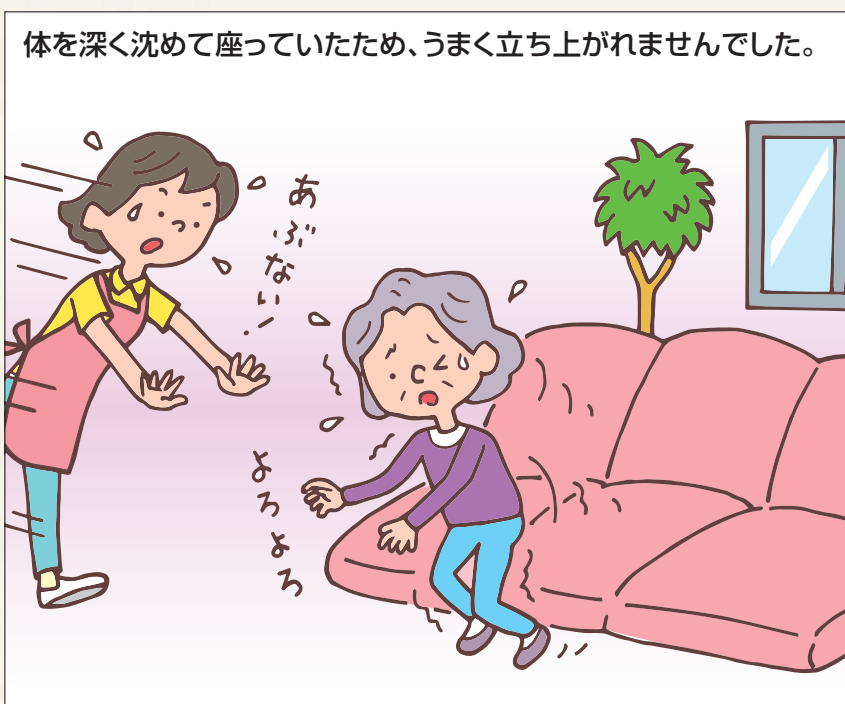
天候の変化や、ご利用者の様子など、突然の事態に慌ててしまいがちですが、つねに落ち着いた行動が大切です。

事例

4

ご利用者の  
事故

## ご利用者がソファから 立ち上がるときに転倒!



### 事故防止に向けて

ご利用者の足腰の状態を把握して、立ち上がりにくくないかソファやイスの高さは適切かを確認しましょう。

### MEMO

体が沈み込まないソファや、ご利用者に合った高さのイスにするなど環境を整えることも大切です。

事例

5

ご利用者の  
事故

## タンスの引き出しを引いた はずみで転倒!

タンスの上段を勢いよく引き出し、  
後ろ向きに倒れそうになりました。



### 事故防止に向けて

部屋の中には転倒につながる危険がたくさんあります。タンスを背の低いものに変えるなど利用者にあつた環境にすることが大切です。

MEMO

電気コードや床濡れなど行動範囲に障害となるものに注意しましょう。

事例

6

ご利用者の  
事故

## ご利用者が、送迎車のステップを 踏みはずし転倒!

ご利用者が家族に気を取られ、ステップを踏みはずしてしまいました。



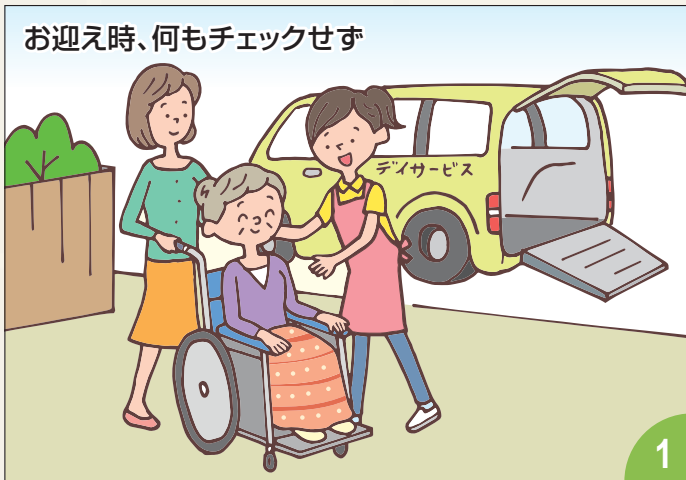
### 事故防止に向けて

デイサービスでは、送迎車の乗降時の転倒事故が多く発生しています。乗降時は、必ずご利用者を見て、お声かけをしてから介助をしましょう。

MEMO

ご利用者が別のことに気を取られ、事故につながることも。安心感から気を取られがちなお帰宅時は要注意。

# ご利用者の補聴器を紛失してしまいました!



## なぜ事故が起きてしまったのか?

事業所内で紛失したのか、もともと着けていなかったかどうか分からないが、自宅を出る際に、家族やご利用者に確認しなかったため、クレームにつながった。

事故防止に向けて

持ち物チェックシートを作成し、お迎えの際に確認することにしませう。

**事前に持ち物をチェックするようにしましょう。**